

省エネの窒素ガス発生装置「ECO - N2シリーズ」を

1月末日より順次発売開始

顧客メリット 電気代約25パーセント節約

流体の計測・制御機器メーカーであるコフロック株式会社(京都府京田辺市、代表取締役社長:小島久寿)は省エネ型の窒素ガス発生装置「ECO - N2シリーズ」を開発しました。顧客要望である電気料金の低減に応える為、既存装置と同一性能にて消費電力を約25パーセントカットした省エネが特長です。

1月17日から東京ビッグサイトで開催の「インターネットショー」に出品後、2007年1月末日から全国の電子機器・半導体工場、樹脂成形工場、食品工場などを対象に本格販売をスタートします。価格は1台600万円～で、初年度50台の販売が目標です。

ECO - N2 シリーズはPSA(圧力スイング吸着)と呼ぶ方法で窒素ガスを発生します。コンプレッサーで圧縮した空気を吸着材に通して酸素などを取り除き、窒素だけを取り出します。純度99.99%の低露点の窒素ガスを発生できます。

地球温暖化防止の為、ここ数年で省エネ法の改定等国策として省エネを促進し、工場や事業所にて消費電力量を抑制する対策が求められております。当社はこの顧客の要望に応えて、ガス使用量100パーセントにて消費電力量の低減を目標として装置開発を行ってまいりました。機種にて違いがありますが、シリーズの第一弾として販売を開始しますNE 20PSでは、年間の電気料金を約40万円(15円/KWh:8000時間/年稼動)、順次販売を開始予定のNE - 70PSでは年間の電気料金約200万円(同条件)低減が見込まれます。

現在順次シリーズの製品化(取り扱い性、メンテナンス性、コンパクト化等)開発を行っております。

これまで、装置寸法、操作性などにて、窒素ガス発生装置メーカーが特徴を出し顧客要望に応えるべく差別化を行ってまいりましたが、ガス発生量に対する電力量(電力単位KWh/Nm3)はほとんど同じでした。

本装置により、コフロックは初めて消費電力量の低減を実現しそれにより顧客の選択条件を大きく広げました。

ECO - N₂シリーズの品種と仕様

機 種	窒素純度 (%)	発生量 (Nm ³ /時)	空気圧縮機出力 (Kw)	既存の空気圧縮機出力 (Kw)
NE - 20PS	99.99	20	11	15
NE - 30PS	99.99	30	15	22
NE - 40PS	99.99	40	22	30
NE - 60PS	99.99	60	30	37
NE - 70PS	99.99	70	37	55

NE - 20PS 販売開始 N30 ~ N70は順次販売予定

(参考) 窒素ガス発生装置について

窒素ガスは加工食品の鮮度保持からハンダ付け、樹脂成形、半導体などの製造プロセスで、生産の阻害要因となる空気中の酸素や水分から製品(素材)を守るために欠かせない存在です。窒素ガス発生装置は大気を原料とし、安全で取り扱いやすいことから、一般製造業まで広く普及しています。窒素ガスポンペを利用するのに比べ、コストが3分の1 ~ 10分の1に低減されるのもメリットです。

コフロックは「窒素ガスのデリバリー購入から、空気を原料に窒素ガスを自家生産へ、顧客にコストメリットの提供」をコンセプトに、1990年から窒素ガス発生装置の製造販売を始め、すでに累計3000台以上の販売実績があります。

【製品写真】 窒素ガス発生装置「ECO-N₂シリーズ」



【会社概要】

会社名:コフロック株式会社

本 社:〒610-0311 京都府京田辺市草内当ノ木 1-3

tel 0774-62-4411(代) fax 0774-68-2066

URL: <http://www.kofloc.co.jp/>

代表者:代表取締役社長 小島久寿

資本金:4億円

創 業:1949年(昭和24年)4月 個人経営の小島製作所として発足

設 立:1974年(昭和49年)7月 株式会社小島製作所に法人改組 資本金1000万円

従業員数:220名(2006年7月1日現在、パート・アルバイト・嘱託含む)

事業内容:面積式流量計、流体制御バルブ、電子式流量計、各種流体制御装置、窒素・酸素・オゾンガス発生装置、燃料電池評価装置、脱臭装置、水処理装置、医療機器等の製造販売
年間売上高:約35億円(2006年3月期)

本件に関するお問い合わせ先

コフロック株式会社 <http://www.kofloc.co.jp>

管理部 広報担当 小島由実子

〒610-0311 京都府京田辺市草内当ノ木 1-3

tel:0774-62-4411(代) fax:0774-68-2066

携帯 tel:090-5258-2766 E-mail:y.kojima@kofloc.co.jp